

原 著

老年看護学実習 I 前後における看護学生の学びの変化 —学生の高齢者観に焦点をあてたレポート分析—

佐渡看護専門学校、教務部；専任教員

や がわ さと し
矢川 里志

目的：高齢者観（イメージ）は、老年看護に携わる看護者の看護の質・内容に影響を及ぼすため高齢者を多面的に捉え理解し、高齢者への看護を学ぶことが看護基礎教育での課題であると考え。今回、看護学生の高齢者観に焦点をあて老年看護学実習 I を通じて、どのような学びの変化があるのか明らかにする。

方法：看護専門学校の学生33名の2年次後期の老年看護援助論Ⅲおよび3年次後期までの老年看護学実習 I で提出された高齢者観のレポートを対象とした。計量的テキスト分析ソフトを用いて、頻出語の抽出および共起ネットワーク分析を行った。それらを基に、実習前後における学生の高齢者観を比較検討した。

結果：1. 実習前後の頻出上位50語の比較
実習前から実習後に頻出回数が増加した語は、「対象」「家族」「強み」「知る」「背景」「学ぶ」であった。実習前から実習後に頻出回数が減少した語は、「イメージ」「多い」「社会」「強い」「マイナス」「生きる」「捉える」であった。
2. 実習前後における共起ネットワーク分析比較

実習前では、「加齢に伴う身体機能の変化」や「高齢者に対するマイナスイメージ」「人生経験や知識に関する語群」、「学生の学び」などに関する語群がみられた。実習後では、「加齢に伴う身体機能の変化」や「マイナスイメージ」「高齢者の強み」、「高齢者の多様な価値観」「その人の歩んだ時代背景」に関する語群がみられた。

結論：老年看護学実習 I の前後における学生の高齢者観は、身体面の虚弱なイメージをもちつつ、精神的・社会的側面で生活者の視点から高齢者の強みを個別的に学ぶ変化があった。

キーワード：看護学生、老年看護学実習、高齢者観

緒 言

高齢者観（イメージ）は、老年看護に携わる看護者の看護に取り組む姿勢の源となり、看護の質・内容に影響を及ぼすと考えられている(1)。看護学生の場合、老化に伴う身体的な変化や事故などの報道、高齢者と関わる生活経験の減少により、否定的なイメージで高齢者を捉える傾向にある。それにより、高齢者とのコミュニケーションや関わりが困難になる学生も少なく

ない。そのため、高齢者を多面的に捉え理解し、高齢者への看護を学ぶことは看護基礎教育における課題である。

当校では、「身体的・精神的・社会的側面から高齢者の理解と自立した生活を支える看護を学ぶ」ことを目的に、専門分野Ⅱに老年看護学実習 I を位置付けている。地域の介護保険施設で療養生活を送る高齢者を受け持ち、高齢者の特徴に応じたコミュニケーション、身体的、精神的・社会的側面における強みの理解およびそれを活用したケアを実践することを目標とし、臨地実習を実施している。

先行研究では、講義・演習における体験をもとに学生のイメージの変化に関する研究報告はあるが、臨地実習の体験に基づく研究報告は少ない。金原らによる先行研究では、「高齢者施設で実施した老年看護学実習」で、高齢者の精神面や社会面での持てる力を実感できる契機になりうることを明らかにしている(2)。

そこで、老年看護学実習 I 前後における看護学生の高齢者観の変化に焦点をあて、学びの変化を明らかにすることを目的に研究に取り組み、その結果を報告する。

対 象 と 方 法

1. 対象

看護専門学校3年次の学生37名のうち研究に同意が得られた学生33名の高齢者観のレポートを対象とした。

2. データの収集期間

20XX年2月～20XX年11月、2学年後期、老年看護援助論Ⅲおよび、老年看護学実習 I の課題で自己の高齢者観をテーマにレポート記載したものをを用いた。

3. 方法

計量的テキスト分析ソフト（KHcoder）を用いた質的研究法とした。頻出語の抽出および共起ネットワーク分析を基に、実習前後での学生の高齢者観を比較した。分析にあたってその語句自体で意味をもたない助詞・助動詞を除外し、名詞、形容詞、動詞を分析対象とした。共起ネットワークとは、データ内にある語と他の語が同時に出現した共起関係にある語を線で結んだものである。共起ネットワーク分析の結果、表示されるグラフをサブグラフは、出現数に応じて円が大きくなり、強い共起関係になるほど太い線で結ばれる(3)。今回は出現数による語の取捨選択にあたり最小出現数を10、描写数を60に設定した。

4. 「老年看護学」の授業の概要

1) カリキュラムにおける位置づけ

1年次の後期に老年看護学概論を、老年看護援助論Ⅰで介護保健施設の入所者への看護を学ぶ。2年次前期で、老年看護援助論Ⅱで高齢者への日常生活援助の方法を学ぶ。そして2年次後期で、老年看護援助論Ⅲで健康障害をもつ高齢者の看護を学ぶ。2年次後期から3年次後期にかけ領域別実習へと進み、入院している高齢者への看護を学ぶ老年看護学実習Ⅱおよび、老年看護学実習Ⅰを並行して行っている。そのため、学生の約5割が老年看護学実習Ⅱを経験してから、老年看護学実習Ⅰを行っている。

2) 老年看護学実習Ⅰの概要

本実習の目的は、地域の介護保険施設などで療養生活を送る高齢者との関りを通じて、身体的・精神的・社会的側面から高齢者の理解と自立した生活を支える看護を学ぶことである。実習期間は、2年次2月～3年次11月までである。実習場所は特別養護老人ホーム4日間、グループホーム・介護予防教室は各2日間の実習を行った。学生は各実習場で、高齢者を受け持ち、ケアを実践した。実習最終日に看護実践を振り返り高齢者の自立した生活を支える看護の役割についてカンファレンスし、自己の高齢者観をレポート提出した。

5. 倫理的配慮

本研究の主旨および研究方法を対象者に口頭および文書で説明し、同意を得た。説明内容は、研究への参加・中断は自由であり、拒否をしても成績に一切影響がないこと、データの分析はすべて匿名で行われ個人が特定されないこと、データの保管・管理を厳重に行うことを説明した。また、結果の公表についても許可を得た筆者が所属する施設で審査を受け、許可を得てから実行した。

結 果

1. 実習前後の頻出上位50語の比較(表1)

上位5位まで共通する語として、「高齢」「考え(る)」「生活」「自分」がみられた。

実習前のみ抽出された語は、「看護」「起こる」「知識」「暮らし」「援助」「病気」「退職」「筋力」「衰える」「弱い」「心配」など21語であった。また、実習後に新たに抽出された語は、「実習」「施設」「価値」「環境」「習慣」「体験」「時代」「話す」「関り」「思い」「障害」「喪失」など22語であった。一方、実習前から実習後に頻出回数が著しく増加した語は、「対象」「家族」「強み」「知る」「背景」「学ぶ」であった。実習前から実習後に頻出回数が減少した語は、「イメージ」「多い」「社会」「強い」「マイナス」「生きる」「捉える」であった。

2. 実習前後における共起ネットワーク分析比較(図1、図2)

実習前のサブグラフでは、「身体」「加齢」「機能」「低下」「変化」など加齢に伴う身体機能の変化に関する語群がみられた。また、「イメージ」「マイナス」「衰える」「病気」などの高齢者に対する虚弱さやマイナスイメージに関する語群がみられた。身体面だけでなく精神・社会面では、「精神」「不安」「社会」「退職」「状態」など否定的側面の語群もみられた。一方で、「人生」「知識」「経験」など人生経験や知識に関する語群や、「対象」「気持ち」「学ぶ」「老年」「実習」などの学

生の学びに関する語群もみられた。

実習後のサブグラフでは、実習前と同様に「加齢に伴う身体機能の変化」や「マイナスイメージ」の語群がみられた。一方で、「高齢」「経験」「実習」「強み」「施設」「環境」「生活」「習慣」など高齢者の強みの捉えを表す語群、「価値」「転換」「障害」「喪失」など高齢者の多様な価値観に関する語群がみられた。また、精神面では「時代」「背景」「生きる」といったその人の歩んだ時代背景を示す語群がみられた。その他、学生の行動・態度を示す「受け持つ」「話す」「関り」「様子」の語群がみられた。

考 察

1. 実習前の記述内容の特徴

実習前の頻出語における「身体」「低下」やサブグラフでの「加齢に伴う身体機能の変化」に関する語群から、学生は加齢に伴う身体機能の変化に着目している。また、「衰える」「マイナス」「病院」といった語やそれに関連した語群から、高齢者に対し虚弱なイメージも抱いていた。精神的・社会的側面でも、加齢に伴う変化に着目している語群がみられた。これらは、学生の約5割が老年看護学実習Ⅱで、健康障害で入院している高齢者を受け持った経験が関連していると考えられる。一方、「経験」「人生」や、サブグラフの「人生経験や知識」に関連した語群から、高齢者の豊富な人生経験や知識をもつという肯定的側面も捉えていた。また、頻出語の「考え(る)」「感じる」「関わる」「学ぶ」、サブグラフにおける「学生の学び」に関する語群から、老年看護学実習Ⅱの受け持ち患者との関わりを通じ、高齢者の日常生活に対する気持ちから、老年看護について考え、学んできたことが推測される。

2. 実習後の記述内容の特徴

実習後では、実習前と同様に「加齢に伴う身体機能の変化」や「マイナスイメージ」の語群がみられた。一方で、頻出語では「強み」「家族」「施設」「環境」といった語、サブグラフの「高齢者の強みの捉え」に関する語群から、学生が高齢者の強みを生活環境や人生経験の観点から捉えていたと考える。また、頻出語の「価値」「障害」「喪失」や、サブグラフの「多様な価値観」に関する語群と「経験」の結びつきから、高齢者の多様な価値観を障害や喪失体験などの経験と関連させ捉えていたと考えられる。さらに、サブグラフの「時代背景」の語群と「精神」との結びつきから、高齢者の精神面を時代背景の観点から捉えていたことが推測される。

学生の行動・態度では、サブグラフの語群から、老年看護学実習Ⅰの対象とのコミュニケーションを通じて、対象の思いや気持ちを聞き、考え学んでいたと考えられる。

3. 実習前後の高齢者観の変化

学生は、高齢者に対し加齢に伴う身体機能の変化や虚弱なイメージを抱えており、高齢者の身体的側面を弱みの観点から捉える傾向にあった。一方で、高齢者の豊富な人生経験や知識を精神的・社会的側面における「強み」として捉えていた。そして、学生は高齢者と実習での関わりを通じ、その人の人生経験や価値観に焦点をあて、個別的な観点から「強み」を捉えるようになった。また、高齢者の日常生活の実際から、生

活環境における「強み」を学んでいた。奥野は看護者の高齢者観について、「高齢者ケアに携わりながら、より現実的、客観的、中立的、総合的、そして個別なものへと、豊かになっていく」と述べている(1)。このことから、本研究における学生の高齢者観の変化は、高齢者自身が老いや障害と向き合い生活していることに実習を通じて気づき、看護の対象として高齢者を生活者の視点から捉え、個別的な強みを学ぶことにつながったと考える。

結 語

本研究における老年看護学実習 I の前後における学生の高齢者観は、身体面の虚弱なイメージをもちつつ、精神的・社会的側面で生活者の視点から高齢者の強みを個別的に学ぶ変化があった。

文 献

1. 奥野茂代. 老年看護における高齢者観の再考. 老年看護学 2002; 7: 5-11.
2. 金原京子, 小川宣子他. 早期体験型の老年看護学実習における看護学生の学びの様相—実習前後での高齢者イメージ・高齢者観に焦点をあてて—. 摂南大学看護学研究 2018; 6: 42-9.
3. 樋口耕一. 社会調査のための計量テキスト分析. 2版. ナカニシヤ出版; 2020, 182-8頁.

英 文 抄 録

Original article

Changes in the Learning of Nursing Students Before and After Geriatric Nursing Practical Training I: Report Analysis with Students' Perspective on the Elderly People

Department of Education, Sado School of Nursing; Full-time teaching staff
Satoshi Yagawa

Objective: The perspective (impression) of elderly people affects the quality and content of nursing care by those involved in geriatric nursing care. For this reason, the study of geriatric nursing care with a multifaceted perspective and understanding of

elderly people is thought to be a challenge in basic nursing education. This study aims to investigate the changes in learning through Geriatric Nursing Practical Training I with a focus on the nursing students' perspective on elderly people.

Study design: The study was conducted on reports on the perspective of elderly people by 33 students at a nursing school for Geriatric Nursing and Assistance Theory III (later part of the second year of the course) and Geriatric Nursing Practical Training I (up to the later part of the third year of the course). Extraction of frequently used terms and co-occurrence network analyses were performed using metrical text analysis software, and this was used as the basis of the comparative investigation on the students' perspective on elderly people before and after the practical training.

Results: 1. Comparison of the 50 most frequently appearing terms before and after the practical training
The terms that increased in frequency from before to after the practical training were "subject," "family," "strength," "knowing," "background," and "learning." Meanwhile, the terms which decreased in frequency from before to after the practical training were "impression," "many," "society," "strong," "negative," "live," and "identifying."

2. Comparison of co-occurrence network analysis before and after the practical training
Groups of terms relating to "age-related changes in physical functions," "negative impression on the elderly people," "group of words on life experiences and knowledge," and "learning by the student" were observed before the practical training. Meanwhile, groups of terms related to "age-related changes in physical functions," "negative impression," "strengths of the elderly people," "diverse values in the elderly people," and "historical background of the person" were observed after the practical training.

Conclusion: The students' perspective on elderly people before and after Geriatric Nursing Practical Training I included the impression of physical frailty while also involving changes in individual learning on the strength of elderly people in the mental and social aspects from the perspective as living people.

Key words: Nursing students, practical training in geriatric nursing care, perspective on elderly people

表1 実習前後の頻出上位50後の比較

※塗りつぶした語は、実習前後で共通して見られた語である。

順位	実習前		実習後	
	語	出現回数	語	出現回数
1	高齢	269	高齢	170
2	考え	103	生活	160
3	生活	84	考え	151
4	イメージ	80	自分	84
5	自分	71	身体	60
6	身体	69	対象	57
7	低下	69	経験	53
8	感じる	44	実習	53
9	多い	41	低下	50
10	機能	37	変化	43
11	社会	36	機能	41
12	経験	35	感じる	38
13	看護	33	強み	37
14	人生	30	施設	37
15	思う	28	家族	33
16	変化	28	関わる	32
17	加齢	22	価値	27
18	起こる	21	環境	27
19	強い	21	習慣	27
20	マイナス	19	人生	27
21	生きる	19	体験	25
22	対象	19	加齢	24
23	関わる	18	思う	22
24	知識	18	背景	22
25	暮らし	18	社会	21
26	援助	17	多い	20
27	精神	17	健康	19
28	捉える	16	時代	19
29	病気	16	話す	19
30	家族	15	精神	18
31	強み	15	知る	18
32	筋力	15	学ぶ	17
33	健康	14	関り	17
34	生きがい	14	思い	17
35	退職	14	障害	16
36	長い	14	喪失	16
37	日常	14	イメージ	15
38	衰える	13	生きる	15
39	腰	12	捉える	15
40	弱い	12	老年	15
41	知る	12	食べる	14
42	地域	12	聞く	14
43	背景	12	マイナス	13
44	プラス	11	変わる	13
45	学ぶ	11	強い	12
46	心配	11	見る	12
47	生じる	11	現象	12
48	増える	11	行動	12
49	病院	11	疾患	12
50	不安	11	受け持つ	12

